

書評 Book Review

□鈴木棠三:日本俗信辞典 植物編 Tozo SUZUKI: **Nihon Zokusin-jiten Shokubutsu-hen** 文庫判. 540 pp. 2020. 角川ソフィア文庫 22227. ¥1,560 + 税. ISBN 978-4-04-400591-7 C0139.

本書のタイトルを勝手に英訳すれば A dictionary of popular believes on plants, fungi and algae in Japan とでもなるうか. 本書には北海道から沖縄まで日本全国の植物に関する言い伝え, 迷信, 禁忌, 呪いなど民間に伝えられてきた事柄が集められている. 1982年に角川書店から発行された『日本俗信辞典』の中から同書店編集部が植物に関連する項目を取り出し, 文庫本としたものである. 著者鈴木棠三(1911–1992)は国文学者・国語学者で多数の著書がある.

本書には283個の項目があり, 多くはいわゆる高等植物で種類名を漢字(ふりがな付き)で挙げていて, 翌檜, 櫟, 牛膝, 独活, 酢漿草などがあるが, 青菜, 青葉, 雨降り花, 木, 草, 葉, 花などという種類名ではない一般的な名称の項目も含まれる. 他にも藻類には荒布, 昆布, 海苔などがあり, 菌類には茸, 猿腰掛, 木耳, 松茸などがある. 当然ながら身近なものが多い. 各項目の中にはそれぞれ地域ごとに異なった多数の言い伝えがあり, 著者が採集した都道府県名と共に記録されている. 膨大な内容が羅列してある. 引用する方がわかりやすい. 一部を省略するが, 「茄子」には「一富士, 二鷹, 三なすびを吉夢とすることは全国的で, 特に初夢に見ることを喜ぶ. わずかではあるがこれを不吉と伝えている例もある. ナスの夢を見ると運が悪い(愛知), 人が死ぬ(福島県相馬市). 旅立ちの前にナスの夢を見ると危険があるからやめる(広島県佐伯郡), ともいう. ナスを食べると頭の毛が抜ける(秋田・栃木・群馬・埼玉・新潟・愛知・鹿児島), 声が悪くなる(秋田他), 眼病になる(奈良), 目の悪い子が生まれる(北海道), 腹に毛が生える(新潟), 子を多く生む(岡山・広島)という. 疣を取るにはナスのへたでこする(北海道他九州まで)」などなど, ナスだけで13ページにわたっているいろいろな記述がある. 本書は本誌事務局に送られてきたもので, このような機会がなければ手には取ることがなかっただろう. 不思議な本であり, 日本の土俗, 民俗の民間伝承の事柄も植物学にも方言名や和名の由来などと多



少の関連があると考えて紹介した. カバーの絵がよく描けていて内容を示しており, 面白い.

(大橋広好 Hiroyoshi OHASHI)

□山田耕作(著), 日本蘚苔類学会(監修): **日本蘚苔類文献目録** Kohsaku YAMADA, Supervised by The Bryological Society of Japan: **Catalog of Bryological Literatures Contributed by the Residents of Japan** 蘚苔類研究 12巻4号付録. 290 pp. 2020. 日本蘚苔類学会.

日本蘚苔類文献目録は日本蘚苔類学会の学会誌である蘚苔類研究 12巻4号に掲載された山田耕作氏による「日本蘚苔類文献目録」(118–121頁)の付録で, 290頁の別冊となっている. 山田耕作氏は三重県の主に高等学校で教鞭をとる傍ら, 蘚苔類の研究を進められ, 中でも苔類ケビラゴケ属の研究を精力的に行い, 本属の世界的権威となり, 1978年には東京教育大学から理学博士の学位を授与されている. 教職を退かれた後は後進の指導に努められている. なお, 本文献目録の出版は日本蘚苔類学会創立40周年記念事業の一つとして企画されたものである.

本文献目録には日本在住者1,476名によって